

2022年1月7日
第一フロンティア生命保険株式会社

チリの手銀行、Bci が発行するグリーン・ボンドへの投資について ～COP26 後の未来をつくるため、各国における気候変動対策の支援～

第一フロンティア生命保険株式会社(代表取締役社長 武富 正夫、以下「当社」)は、バンコ・デ・クレディト・エ・インベルシオネス(正式名称: Banco de Crédito e Inversiones、以下「Bci」)が発行する日本円建てグリーン・ボンド(50 億円)(以下、「本債券」)への投資を行いましたのでお知らせいたします。

本債券は、Bci が 2021 年 9 月にサステナビリティ・ファイナンス・フレームワーク発表後、本フレームワークから初めて起債される私募形式のグリーン・ボンドとなります。調達資金は、チリを中心とした再生エネルギー促進やエネルギー効率改善を目的とするプロジェクトへの投資を通じて、同国および近隣国の低炭素化を中心とした気候変動対策に使われます。

【債券概要】

発行体	Banco de Crédito e Inversiones
発行金額、通貨	円建て 5 年債:50 億円
資金用途	再生エネルギー促進やエネルギー効率改善を目的とするプロジェクトへの投資

Bci のサステナビリティ・ファイナンス・フレームワークは、格付機関のスタンダード・アンド・プアーズによる第三者認証を得て策定・発表されたものです。本債券の準備段階において当社は債券引受業者の野村證券と連携して Bci と複数回にわたりミーティングをもち、フレームワークの策定やプロジェクトの選定に関与しました。Bci のフレームワークにおけるグリーン・アセットについては、以下の 4 つが主な柱に据えられ、プロジェクト選定における重要な基準を成しています: ① 再生エネルギー、② クリーンな輸送運搬インフラの構築、③ エネルギー効率の改善、④ 水資源の活用と効率改善。

1937 年設立の Bci は、チリにおける 3 大民間銀行の一角をなし、チリ国内における市場シェアはローンで 14.3%、預金で 13.4% (いずれも 2021 年 9 月末時点)と常に上位に位置するほか、2015 年に買収したフロリダの City National Bank of Florida (CNB)の保有を通じた米国市場や、ペルーにおいてもビジネスを拡大しています。

当社は、持続可能な社会の達成に貢献するために、お客さまからお預かりした約 8.7 兆円(2021 年 3 月末時点)の資金を運用する機関投資家として、経済的リターンのみならず、持続可能な社会の実現に責任を持った投資を推進していくことが、お客さまに対する受託者責任であると考えています。今後も引き続き、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、SDGs 債の投資に積極的に取り組んでいきます。

【本件と関連性の深い SDGs 目標】



※本資金調達使途の一例：チリの風力発電プロジェクト

【発行体概要】

企業名	Banco de Crédito e Inversiones
格付け	Moody's: A2 / S&P: A- / Fitch: A-
事業概要	チリを拠点としたユニバーサルバンク。預金業務と、リテールおよびコマース・バンキング・サービスに従事する。加えてクレジットカード、富裕層向け資産運用、健康・生命保険、リース・ファイナンス・サービスを提供。

以上